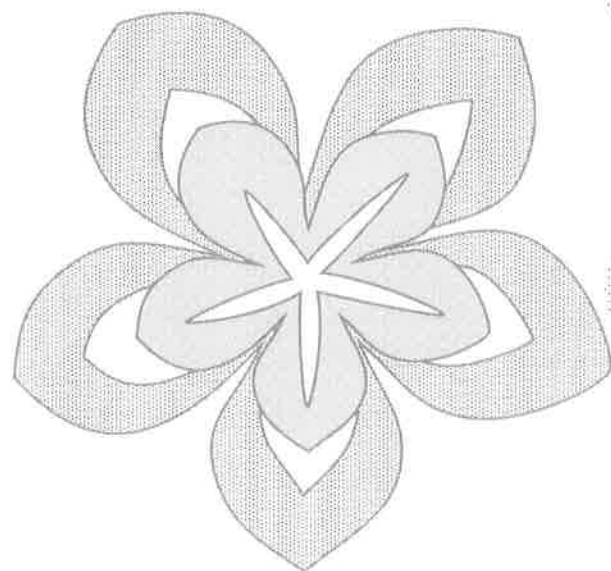




平成 29 年度

自治振興区  
活動促進補助金

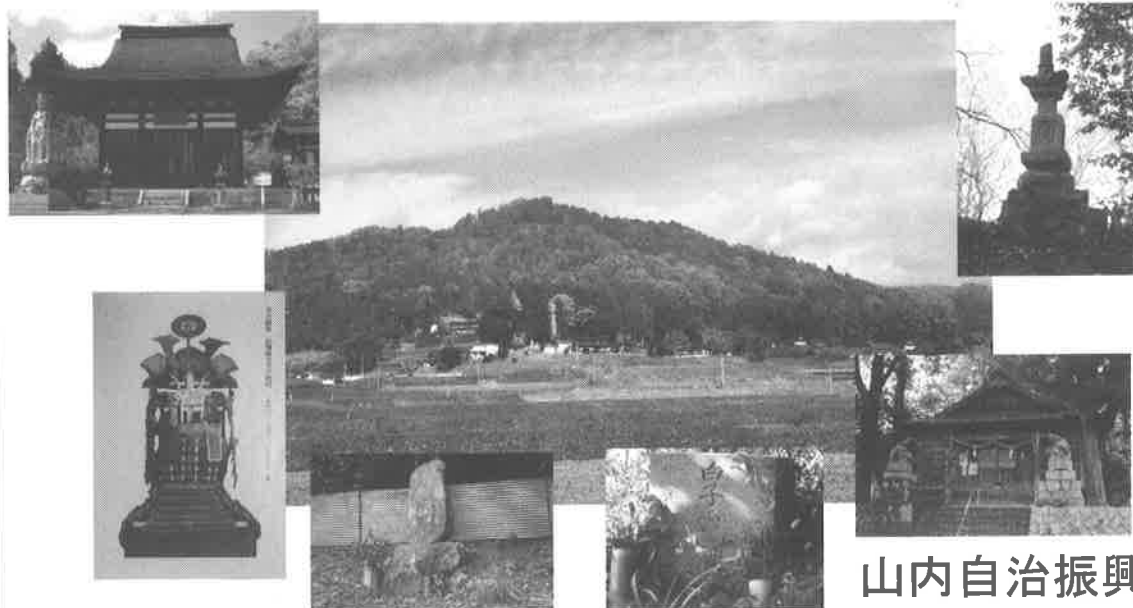
実績報告書





自治振興区名	山内自治振興区
事業名	歴史的資源を活用した地域づくり事業
事業費	1,685,880 円（うち補助金：1,348,000 円,自主財源 337,880 円）
事業内容	<p>山内自治振興区では、振興区内の歴史的資源を活用し、地域の活性化につなげてきた。しかし、将来の担い手である小学生が山内の歴史を理解し、より山内に愛着が湧くような冊子がなく、山内の歴史的資源の史実を説明できる人材も少なくなっている。そのため、子ども、保護者、祖父母の三世代間で歴史意識を深めるとともに、郷土愛をさらに高め、地域住民の一体化・活性化を図ることで将来の地域づくりにつなげることを目的に、冊子とマップの作成及び説明看板の設置を行った。</p> <p>○甲山城の歴史や史跡の冊子作成                  小学校高学年にも理解できる内容で、甲山城の歴史や史跡についての物語をまとめた冊子を作成し、振興区全戸と地域の子どもたちに配布した。</p> <p>○史跡をめぐるマップの作成                  山内の歴史と史跡をまとめたマップを作成し、振興区内全戸と地域の子どもたちに配布した。</p> <p>○甲山城跡の説明看板の設置                  甲山城跡の説明看板を設置し、来訪者へ看板を利用し説明を行った。</p>
効果・変化	<p>○小学生が理解できる甲山城の歴史の冊子と史跡をめぐるためのマップを作成したことにより、三世代で歴史を共有でき、郷土愛を深めるとともに地域の活性化に寄与することができた。</p> <p>○作成した冊子等を利用し、小学六年生に地域学習の中で山内の歴史について説明を行ったことで、郷土史への関心を高め、郷土史研究会へ小学生の加入があった。</p> <p>○作成した冊子とマップについて市内外から問い合わせがあり 300 冊あまりを配布し、甲山城跡・円通寺・日吉神社への来訪者も増加した。また、来訪者に対し、設置した説明看板を利用し説明を行った。（来訪団体 3 団体・62 名）</p> <p>○自治振興区の郷土史研究会を中心にマップを協同で作成していく中で、一体感と歴史認識が高まり地域の活性化につながってきた。</p> <p>○冊子とマップを作成し広く配布したこと、甲山城の説明看板を設置したことで、訪れる人が増加し地域の活性化につながっている。</p>
写真	<p>作成した説明看板で来訪者に説明 三原市郷土史研究会来訪（8 名）</p> <p>作成した冊子とマップ</p> <p>百働会来訪（12 名）</p> <p>福山備陽史探訪の会来訪（42 名）</p>

## 平成29年度庄原市自治振興区活動促進補助金報告



山内自治振興区

### 1 事業の目的

山内自治振興区内には山内氏の遺跡（国重要文化財，  
県史跡）が多く現存する。



これらの地域史を小学生にも理解できる内容で冊子と探  
訪マップを作成する。



三世代間で歴史認識を深めるとともに，郷土愛をさらに  
高め，地域住民の一体化・活性化を図ることで将来の地域  
づくりにつなげる。

## 2 期待される効果

- (1) 小学生が理解できる甲山城の歴史の冊子と史跡をめぐるためのマップを作成することにより、三世代で歴史認識を共有し、郷土愛を深めるとともに地域の活性化につなげていく。
- (2) 作成した冊子とマップを市内外の多方面に配布することにより、来訪者も増え地域の活性化につながる。
- (3) 自治振興区の郷土研究会を中心に冊子、マップを協同しながら作成していく中で一体感と歴史認識が高まり、ガイド役が務まるとともに地域の活性化につながる。
- (4) 甲山城跡の説明看板を設置することで訪れる人が増加し、地域の活性化につながる。

## 3 成果

- (1) 小学生が理解できる甲山城の歴史の冊子と史跡をめぐるためのマップを作成したことにより、三世代で山内の歴史が共有でき、郷土愛を深めるとともに地域の活性化につながってきた。郷土史研究会への加入者も増えた。  
小学校6年生に、地域学習の中で山内の歴史について説明を行い、関心を高めた。また、小学生の郷土史研究会への加入者もでてきた。



## 山内歴史探訪マップ

### 甲山城と地名 「山内」誕生の歴史を巡ろう

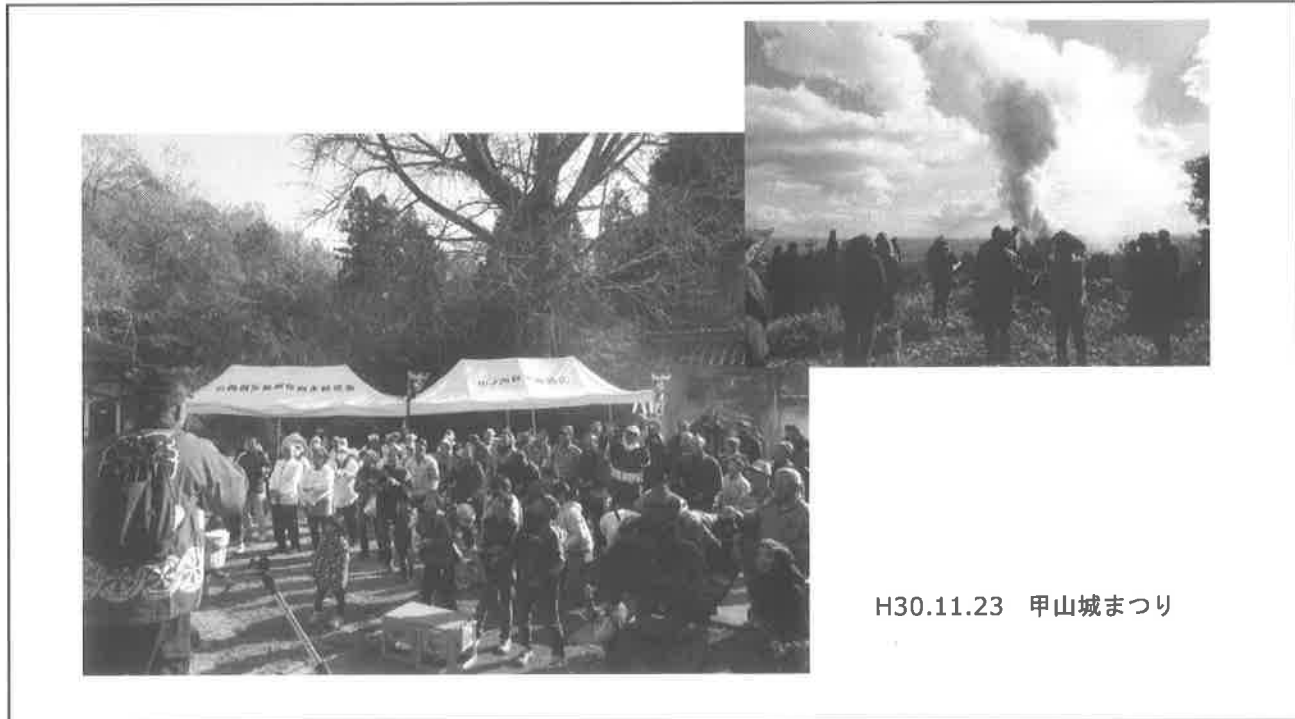
**鎌倉での山内氏と備後国地取荘への移住**

山内氏は源頼朝の家臣で、鎌倉（京都）近郊の地侍であったが、備後国鞆郡山内（現在の山内町）を領したことから、平次卿と名乗って山内源氏と名をよぶようになった。

山内氏は、平安時代末期から鎌倉時代にかけて源平両朝や義経源朝に戦ったことで有名で、備前・備後・備前・備後・備前・備後（備前・北備前）の山内源氏の領地が、山内に移り、備後守備隊を率いて備後守備隊の有力部族として勢力を拡大しました。

しかし、鎌倉時代末期には北条氏の勢力が拡大したことにより、山内氏はこれに反する多くの備後源氏の部族へと分裂していききました。

山内氏は源頼朝の代官の末裔（山内氏）に源氏の領地へ移り、備後守備隊の有力部族（山内氏）に山内源氏に領地を譲渡したとされています。後に山内源氏に源頼朝より、建長3年（1253）に山内氏（山内源氏）が山内源氏を領しました。



(2) 作成した冊子とマップが好評で、市内外から問い合わせがあり300冊あまり配布した。また、甲山城趾、日吉神社への来訪者も多くガイド役も行った。



三原市郷土史研究会（8名）  
H30. 6. 14



福山備陽史探訪の会来訪（42名）  
H30.11.28



百働会来訪（12名）  
H30.9.25

(3) 自治振興区の郷土史研究会を中心にマップを協同しながら作成していく中で、一体感と歴史認識が高まり地域の活性化に繋がってきた。郷土史研究会への加入者も増えた。



H29.7.6,7 鎌倉 明月院



H30.7.28 月山富田城



H30.6.20 安芸高田市歴史民俗博物館



H30.7.5,6 高知城







(4) 冊子とマップを作成し広く配布したことと甲山城跡の説明看板を設置したことで、訪れる人が増加し地域の活性化につながっている。



#### 4 今後に向けて

- (1) 冊子，探訪マップ，説明看板を作成したことにより，子どもたちや祖父母の代の歴史認識が高まり，活力に繋がった。  
保護者の層をもう少し巻き込んでいく必要がある。
- (2) 来年度は日吉神社と頼杏坪の冊子を作成し，さらに地域の活性化を高める。

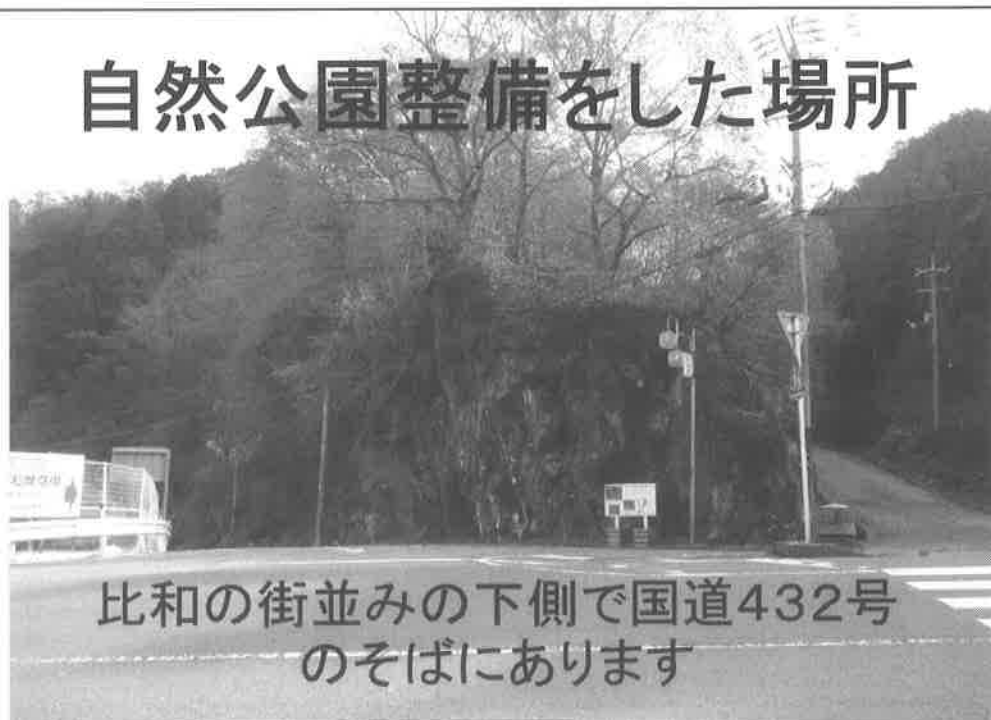
自治振興区名	庄原市比和自治振興区
事業名	人や町が元気になる自然公園整備事業
事業費	1,561,064 円（うち補助金：1,248,000 円,自主財源 313,064 円）
事業内容	<p>比和自治振興区では、古くから地域住民に親しまれてきた自然公園の再生に平成 23 年から取り組み、「比和下町公園」の整備を行ってきた。しかし、歩道や手すりの不備など安全確保ができておらず、利用者の増加に伴い、事故が起きる可能性が高くなっていた。そのため、魅力ある地域資源として、更なる整備や他の資源との一体化した利活用を図るために、公園の整備を行った。</p> <p>○サクラ・シャクナゲの管理 名所となるよう、サクラ・シャクナゲの手入れ、草刈、蔓刈等を実施した。</p> <p>○案内・説明看板の設置 由来等の説明看板、方向指示案内版等を設置した。</p> <p>○安全確保・公園の一体的管理 歩道の危険箇所の補修、手すりの改修を行った。 休憩所・歩道・手すりの維持管理及び眺望確保のための樹木の管理、山野草の保全を行った。</p>
効果・変化	<p>○案内看板・由来等の説明看板を設置したことで、公園の周知につながった。町民だけでなく、まちなか散策を行う観光客の関心を引くようになった。（下町公園に登ったことを話題にする者が増えた。観光客が公園入口のビューポイントから町並みを見ていることがある。）</p> <p>○自然公園として歩道や手すりが整備され、樹木の手入れが行われるようになったため、地元住民の季節に応じた活用が増えた。（花見、森林浴・避暑、紅葉狩りなど、以前は個人での利用がほとんどであったが現在はグループでの利用が増えている。）</p> <p>○公園を安全に利用できるようになったため、自治会やサークルの健康づくりメニューとして活用されるようになった。（整備前は健康づくりの場としての利用はなかったが、現在はノルディックウォーキング講習会などで利用されている。自治会などで定期的な利用が検討されている。）</p> <p>○比和自然博物館を訪れる観光客にまちなか散策と合わせて手軽な森林浴として紹介することができるようになった。今後はあけぼの荘と合わせて観光コースとしてアピールしていく。（自治振興センターに公園を紹介する掲示物を作っている。まちなか散策を希望する約 20 組に対して紹介を行った。）</p>
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>まちなかを見渡せる比和下町公園</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> <p>花見や紅葉狩りなどで自然を楽しむほか ウォーキングなど健康づくりの場として利用</p>  </div> <div style="width: 25%;">   </div> </div> <p>案内看板を見て関心を示す観光客</p>

# 人や町が元気になる自然 公園整備事業



比和自治振興区

## 自然公園整備をした場所



比和の街並みの下側で国道432号  
のそばにあります

## はじめに

○この公園は古くから「里山公園」として地域住民に親しまれてきました。また、自然林を活かして、「住民の憩いの場」「子供たちの遊び場」として長い間活用されてきた場所です。

○平成23年から「比和下公園整備事業」として雑木林を切り開き、遊歩道の整備をしたり、花見などで楽しめるよう「あづまや」の建設や案内看板を設置してきました。

## あづまやの建設や遊歩道整備

あづまやの建設



遊歩道の整備



## 事業実施前は

- 利用する人が増えるにつれ、歩道や手すり等の不備による危険な個所もあり、このままでは事故の起きる可能性が高くなりました。
- 支出できる費用にも限度があり、大規模な改修が望めない現状でした。

## 事業の目的

- 1.豊かな自然環境を活かして「人」「自然」「まち」を結ぶ公園づくり
- 2.植物の多様性を保全し、自然を満喫できる公園づくり
- 3.ふるさとの歴史や文化を学び、継承する公園づくり

## 事業の内容

- ① さくら・シャクナゲの手入れ、草刈・ツル切等の実施
- ② 公園の由来等の説明看板、方向指示案内看板の設置改修を行う。



- ③ 歩道の危険個所の補修、手すりの改修、歩道の維持管理及び眺望確保のための樹木管理、山野草の保全
- ④ 自然公園を利用した四季折々の観察会・勉強会の開催
- ⑤ コミュニティ活動の場としての利用の呼びかけや、健康づくりのためのトレッキングの拠点として利用する。



## 工事の施工内容

### 案内看板設置



### 歩道の手すり改修



### 危険個所の手すり設置



### 方向指示案内板





## 事業の効果

- 自然公園を拠点とした花や樹木を楽しむ活動、トレッキングなどの健康増進に利用できる。
- 小中学校の児童生徒の自然学習の場とする。
- 観光客の誘致を進めることができる。
- 健康増進施設比和温泉「あけぼの荘」や比和自然科学博物館との一体利用が図られる。

## 活用の事例

### 地域のコミュニティの場として

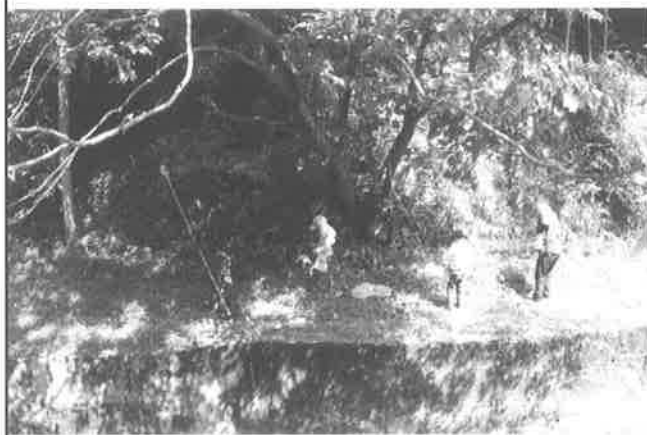


## 児童生徒の学習の場として



## 子供達の遊びの場として

夏休みなどに子供たちが自然に親しむ



## 観光の拠点として

町内一周サイクリングに利用



## 健康づくりの場として利用

自治会主催のノルデックウォーキングの風景



## 比和温泉あけぼの荘との一体利用

比和温泉の外観



岩風呂とヒノキ風呂



## 今後の利用計画

- 地域住民に「豊かな自然を楽しむライフスタイル」を提案するとともに、フェイスブックなどのSNSを利用して情報を発信し、人と人とのつながりを目指します。
- 比和温泉施設「あけぼの荘」や比和自然科学博物館、まちなかとの一体利用をすすめます。

# おわりに

**ようこそ 比和下自然公園へ**

この公園は古くから35ヶ所開合番場として、地域の住民によって33体の石像が建立され、「住民の憩いの場」として活用されてきました。社会の変化により訪れる人も少なくなってきましたが、平成23年から地元住民有志により再手に取り組み、平成29年度に「自治振興区民協働助成」を受けて整備をしてきました。

- 35ヶ所の石像を維持すると、恒常費が膨大な費用が削減し、無常態下へ対応できるといわれています。
- 各地を結ぶ道から出るフロンティアゾーン(敷しやまらざきりえる施設)も整備で自然環境に配慮です。
- 石像には海老の形や名前が彫られています。本人の願いを込めた自然の恵みについて学ぶことができます。
- 比和の静けさを体感できるの地を訪れ、中継の「あすまや」で自然観察や交流も出来ます。

○は石像の位置

この補助事業に感謝しながら、今後も持続可能な町づくりを進めていきたいと思います。

自治振興区名	敷信自治振興区
事業名	集会所での地域活動を充実するための施設設備の整備事業
事業費	490,000 円（うち補助金：392,000 円,自主財源 98,000 円）
事業内容	

敷信自治振興区の新庄東自治会では、年間を通して集会所を拠点に地域活動を実施しており、集会所の利用頻度はきわめて高い。しかし、夏季においては空調設備が整っておらず、暑さ対策が十分とは言い切れないため、季節的に各活動の参加者が減少し活動に支障をきたしていた。そのため、地域活動の継続と充実を図る事を目的にエアコンの設置を行った。

○エアコンの設置と各地域活動の実施

老人部と生活福祉部による交通安全教室・健康講座・防犯教室、手芸教室・誕生会や懇親会などでの利用。青年部「愛郷会」と壮年部の頼母子集会での利用。

地域行事の計画実施及び反省会等での利用。

効果・変化

○老人部は生活福祉部と連携して、毎月デイホーム事業で交通安全教室・健康講座・防犯教室・手芸教室・誕生会などを実施しているが、夏場は参加者が減少し平均 15 名程度で実施していた。しかしエアコン設置後は 20 名を超える参加者があり（多いときで 25 名程度）、参加者の増加につながった。

○壮年部や青年部の活動は全て夜に行われ、終業後の集まりであるため、夏場は部員が疲れた状態での活動であった。しかし、エアコンが設置され快適な環境となったことで、活動が充実したものとなった。

○太鼓打ちの練習は小学生を中心に夏～秋の夜実施するが、周囲への騒音に配慮し、戸を閉め切った蒸し暑い状態では集中力を欠くことも多く、指導に苦労していた。しかし、エアコンが設置されたことにより、集中力を維持しやすくなったため、より充実した指導を行えるようになった。

○活動環境が改善されたことにより、地域活動への参加意欲の改善につながっている。

写 真



自治振興区名	久代自治振興区
事業名	「わしは百まで」「あんたも百まで」みんな久代に住んで生き生き！事業
事業費	264,400 円（うち補助金：211,000 円,自主財源 53,400 円）
事業内容	

久代自治振興区では、今まで地域内においてサロン事業を実施していなかったが、平成 29 年度からは福祉活動を充実させ、高齢者の地域参加を促し、日頃から地域との繋がりを持つことによる孤独死の防止を目的に、サロン事業に取り組むこととした。しかし、サロン事業実施に係る知識や経験が不足していたため、平成 30 年度のサロン事業の本格的な実施に備え、地域住民に集いの場の形成を促すための基礎及びサロン事業を実施していくための基礎作りとして事業を実施した。

○魅力あるサロンの実施

- ・地域外から講師を招き、サロンの開催。
- ・東、中、為重支部において各 3 回サロンの開催。（計 9 回）

○サロン活動に必要な事務機器の整備

- ・専用パソコン、プロジェクター、スクリーンを整備し、元気づくりサロン、認知予防教室等での活用。

効果・変化

サロンの実施を通して、高齢者の地域参加を促すと共に、地域課題の把握・解決への一助となった。

○各支部においてサロンを開催したことにより、高齢者の地域参加を促すきっかけとなり、久代自治振興センターで行われる行事に参加しない人が参加するようになった。

○サロンを通して、安否確認や生活状況の確認、困りごとの相談などの情報交換が行われ、地域の生活実態の把握が円滑に行われるようになった。

○回数を重ねるごとにサロンを楽しみにされる方が増え、次年度以降の定期開催につなげていくための基礎ができた。今年度は地域マネージャーによるサロンの運営を行い、定期実施につながっている。

○サロンによる情報交換を通して出た地域課題について、振興区や支部の役員会等で協議し、課題解決に努めた。

○情報機器は、サロン活動を含め振興区の広報活動等に有効活用できた。

写真



東支部サロン（講師による説明）



為重支部サロン（歌とゲームで体も心も元気）



中支部サロン（みんなで食べればうまい）



健康講座（情報機器活用）